

Nursing Now キャンペーンについて

日本看護系大学協議会は、5月11日（土）開催された NursingNow キャンペーン発足会に参加団体として出席した。今後、本協議会としての取り組みについては検討していく。

1. Nursing Now 概要

- 1) 目的：世界的に看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とする。
 - 看護師の認知を向上し、誰もが、どこでも健康と保健医療にアクセスできるよう、看護師の影響を拡大し、貢献を最大化する。
 - 看護と助産の発展において力強い役割を果たす組織が世界には多数ある。Nursing Now は、それらを補完し、後押しする。グローバルヘルスに関する考え方の前面に看護を押し出し、看護師が世界の健康向上により多くを果たせるようにする。
- 2) 設立：ナイジェル・クリスプ卿（前国民保健サービス（NHS）最高責任者）が主導し英国 グローバルヘルスに関する議員連盟（All-Party Parliamentary Group on Global Health）によって設立。
- 3) 運営：バーデット看護信託のプログラムとしてキャンペーン理事（20名）が運営。また、事務局長を始め、専属職員を配置している。
- 4) パートナー：世界保健機関（WHO）、国際看護師協会（ICN）
- 5) キャンペーン期間：2018年～2020年（3ヵ年）
ナイチンゲール生誕 200 年記念の一環として、2020 年に進捗報告書を発行し、終了予定。

2. 2020 年に向けた目標

- 1) 看護師の教育、専門職開発、水準、規制及び雇用条件の向上に関するより多大な投資。
- 2) 看護の効果的・革新的実践のさらなる普及。
- 3) 看護師及び助産師が世界的及び国内の健康政策に及ぼす影響の拡大。保健医療従事者のさらなる意思決定への関与に向けた幅広い取組みの一環として。
- 4) リーダーシップの職位に就く看護師の増加、及びあらゆるレベルにおける発展の機会の増加。
- 5) 政策及び意思決定者に以下に関するより多くのエビデンスを提供する。
看護がより重大な影響を及ぼす場所、看護師の可能性を十分に発揮することを阻害するもの、及びこれらの障害を解決する方法。

3. Nursing Now キャンペーンによる推奨活動

- 1) 看護師：①経験やアイデアの共有、②看護における変革の主体として専門職の主張／擁護等の企画・実施、③Nursing Now 支持の宣誓、④ソーシャルメディアツールキットを利用し、キャンペーンの認知度の向上
- 2) パートナー：看護師・看護と共に、または、代表して主張／擁護の実施、サービス提供における革新の推進及び効果的な看護実践例の共有、Nursing Now 支持の宣誓

出典：Nursing Now キャンペーンウェブサイト：

<https://www.nursingnow.org/>（2019年4月10日アクセス）